

佐賀県景気動向指数

平成 22 年 2 月 26 日
経営支援本部統計調査課

1 平成21年12月の動向

- 先行指数 **55.0%** …… 6ヵ月連続して50%を上回った。
一致指数 **71.4%** …… 4ヵ月連続して50%を上回った。
遅行指数 **50.0%** …… 3ヵ月振りに50%を上回った後、50%になった。

個別指標の動向

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(0)	
(先行系列)	乗用車新車登録台数 所定外労働時間数 採用系列数 10 拡張系列数 5.5 指数 55.0	9ヵ月連続 8ヵ月連続 4ヵ月連続 2ヵ月連続 2ヵ月連続	銀行貸出残高() 新規求人数 企業倒産件数(逆) 不渡手形金額(逆)	5ヵ月振り 2ヵ月振り 2ヵ月連続 2ヵ月連続	手形交換金額()	+ 0
(一致系列)	鉱工業出荷指数(総合) 着工建築物床面積(産業用) 採用系列数 7 拡張系列数 5.0 指数 71.4	9ヵ月連続 4ヵ月連続 3ヵ月連続 2ヵ月連続 2ヵ月振り	有効求人倍率 大型店売上高()	5ヵ月振り 2ヵ月連続		
(遅行系列)	雇用保険受給実人員(逆) 常用雇用指数 消費者物価指数() 採用系列数 6 拡張系列数 3.0 指数 50.0	6ヵ月連続 3ヵ月連続 2ヵ月連続	陶磁器生産重量 銀行預貸率 鉱工業在庫指数(総合)	5ヵ月振り 3ヵ月連続 4ヵ月連続		

(逆)は逆サイクルを示す。

()は対前年同月比で、その他はセンサス法により季節調整を行っている。

2 佐賀県景気動向指数变化方向表

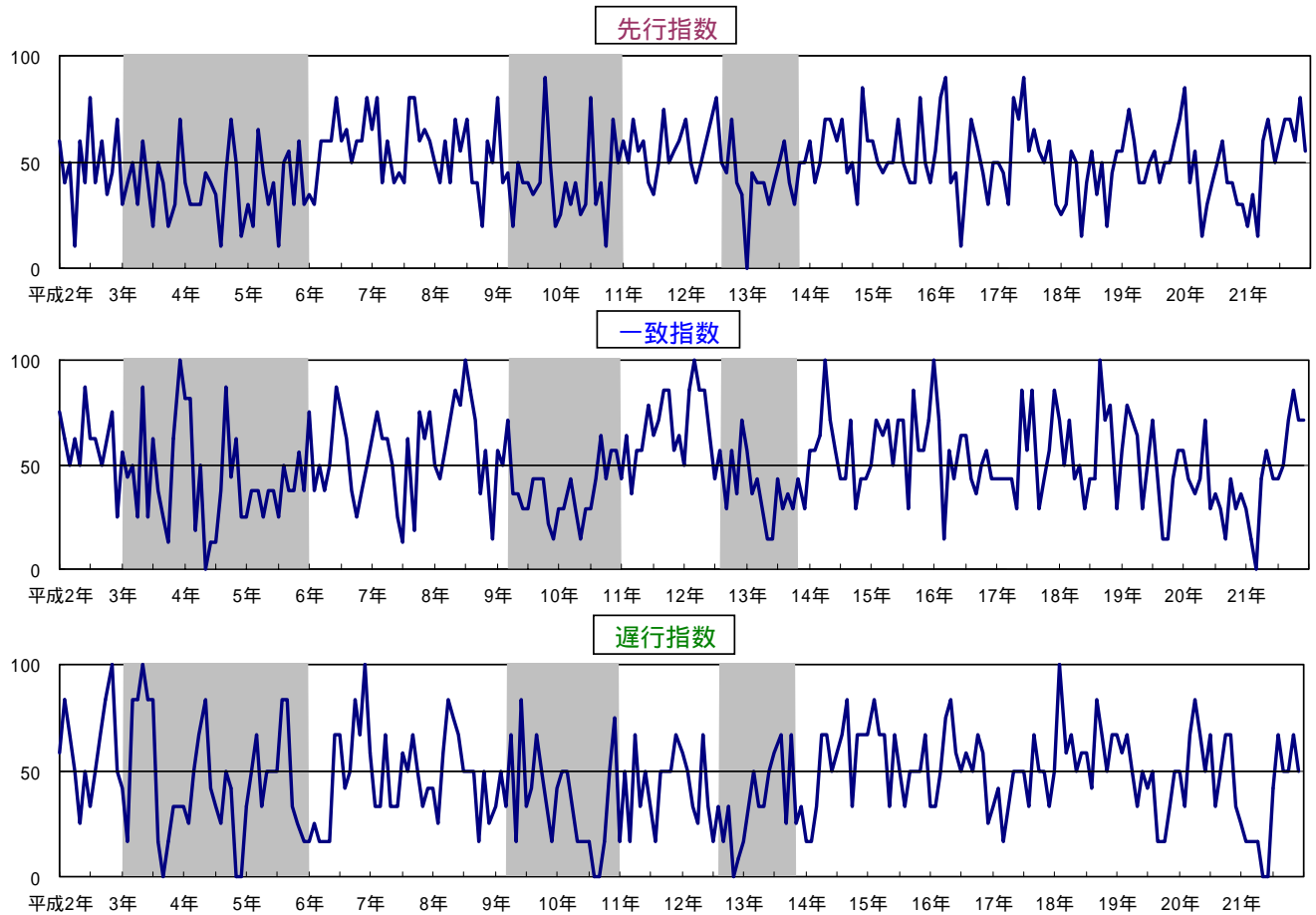
名 称	H20年 H21年												
	12月	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(先行系列)													
01 所定外労働時間数	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
02 新規求人数	-	-	-	-	+	-	-	-	+	-	-	+	-
03 鉱工業生産指数(生産財)	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	+	+
04 乗用車新車登録台数	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
05 鉱工業在庫率(生産財・逆)	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	+	+
06 新設住宅着工戸数	+	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+
07 企業倒産件数(逆)	+	+	+	0	-	+	-	-	+	+	+	-	-
08 不渡手形金額(逆)	+	-	+	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-
09 銀行貸出残高()	-	+	0	+	+	+	-	-	+	+	+	+	-
10 手形交換金額()	-	-	+	-	+	-	-	-	+	-	-	+	0
拡張本数	3.0	2.0	3.5	1.5	6.0	7.0	5.0	6.0	7.0	7.0	6.0	8.0	5.5
採用指標数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
先行指数	30.0	20.0	35.0	15.0	60.0	70.0	50.0	60.0	70.0	70.0	60.0	80.0	55.0
(一致系列)													
01 有効求人倍率	-	-	-	-	-	-	-	-	0	+	+	+	-
02 就職率	0	+	-	-	+	-	-	-	+	+	-	+	+
03 鉱工業生産指数(総合)	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	+
04 鉱工業出荷指数(総合)	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
05 大型店売上高()	+	+	-	-	+	+	+	-	-	+	+	-	-
06 着工建築物床面積(産業用)	-	-	+	-	-	-	-	+	-	+	+	+	+
07 輸入総額(唐津+伊万里)	+	-	-	-	-	+	-	-	-	-	+	-	+
拡張本数	2.5	2.0	1.0	0.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.5	5.0	6.0	5.0	5.0
採用指標数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
一致指数	35.7	28.6	14.3	0.0	42.9	57.1	42.9	42.9	50.0	71.4	85.7	71.4	71.4
(遅行系列)													
01 常用雇用指数	+	-	+	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+
02 雇用保険受給実人員(逆)	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
03 陶磁器生産重量	-	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-
04 消費者物価指数()	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
05 鉱工業在庫指数(総合)	+	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-
06 銀行預貸率	-	0	-	+	-	-	-	0	+	+	-	-	-
拡張本数	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	2.5	4.0	3.0	3.0	4.0	3.0
採用指標数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
遅行指数	33.3	25.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	41.7	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0

(逆)は逆サイクルを示す。

()は対前年同月比で、その他はセンサス法により季節調整を行っている。

3 佐賀県DIのグラフ

カレントDIグラフ



シャドー部分は景気後退期を示す。

景気動向指数 (DI: Diffusion Index) の見方

DIは、景気の動きを各種の指標によって総合的にとらえようとするもので、各系列で採用指標のうち3ヵ月前と比較して増加している系列(+)が何%を占めているかを表したものです。

各系列において、指数の計算方法は次式によります。

$$\text{指数} = (\text{「+」の指標数} + 0.5 \times \text{保ち合い「0」の指標数}) \div \text{当該採用指標数} \times 100$$

DIには3つの指標があり、それぞれ下記のような特徴があります。

「先行指数」 …… 景気に対し先行して動き、景気の先行きを予測する。

「一致指数」 …… 景気に対しほぼ一致して動き、景気の現状を示す。

「遅行指数」 …… 景気に対し遅れて動き、景気の動きを確認する。

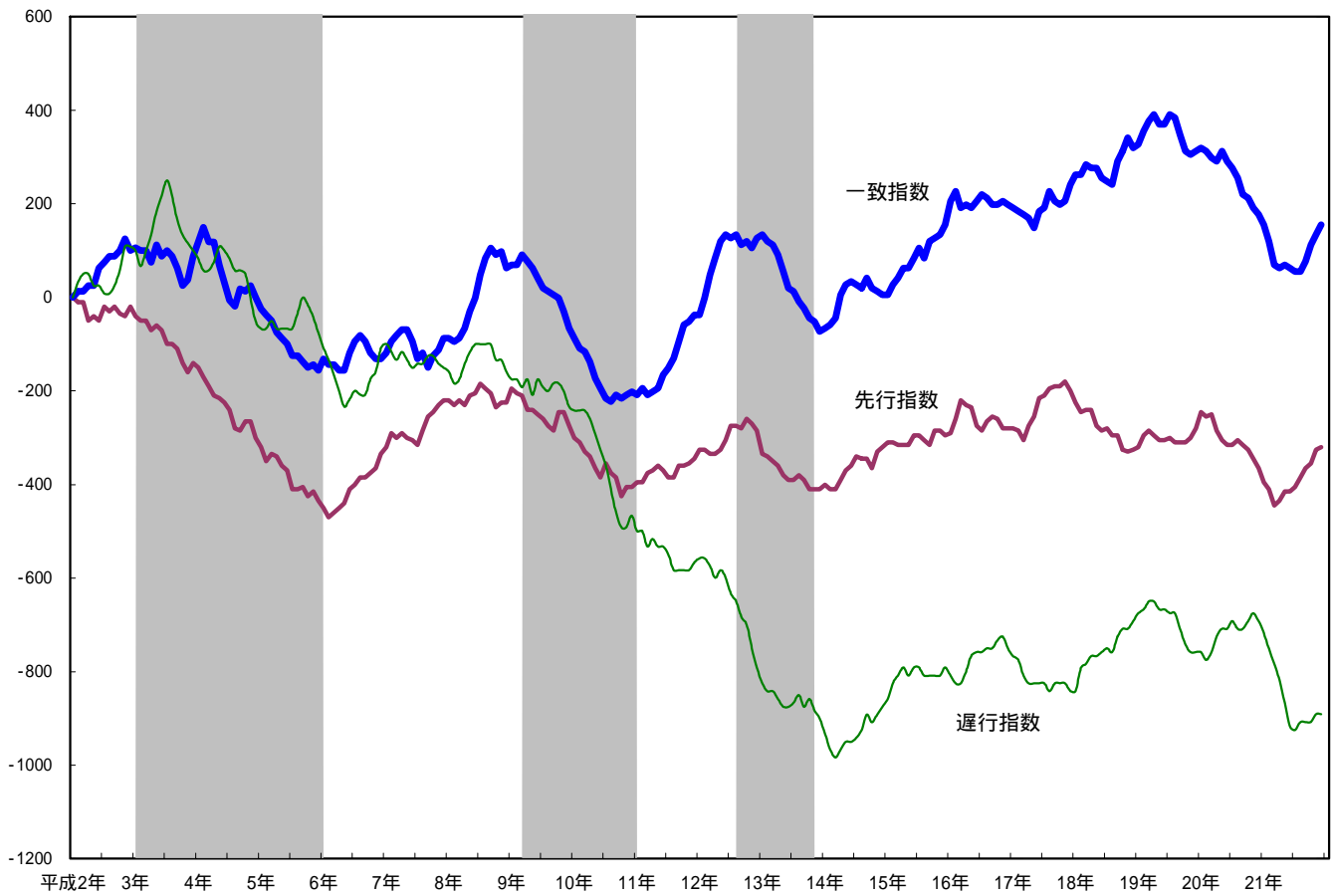
一致指数が基調的に50%を上回って推移している時期は景気拡張期、

50%を下回って推移している時期は景気後退期と判断します。

なお、値そのものの大きさは景気変動の大きさないし振幅を示すものではありません。

DIは不規則な動きをすることが多いので、基調的な動きは累積DIのグラフでみると分かりやすくなります。

累積DIグラフ



シャドー部分は景気後退期を示す。
 $\text{今月の累積DI} = \text{先月の累積DI} + (\text{今月のDI} - 50)$

4 佐賀県の景気基準日付

谷	山	谷	期 間		
			拡張	後退	全循環
-	S48年12月	S50年5月	-	17ヵ月	-
S50年5月	S52年1月	S53年1月	20ヵ月	12ヵ月	32ヵ月
S53年1月	S55年2月	S57年12月	25ヵ月	34ヵ月	59ヵ月
S57年12月	S60年5月	S61年11月	29ヵ月	18ヵ月	47ヵ月
S61年11月	H3年1月	H5年12月	50ヵ月	35ヵ月	85ヵ月
H5年12月	H9年3月	H10年12月	39ヵ月	21ヵ月	60ヵ月
H10年12月	(H12年8月)	(H13年10月)	20ヵ月	14ヵ月	34ヵ月
(H13年10月)					

() は暫定